

石川県能登中部保健福祉センター
羽咋地域センター 環境行動計画

平成21年12月28日

取 組 方 針

羽咋地域センターは、能登半島南部の羽咋地区(羽咋市、志賀町、宝達志水町)を管轄し、医療機関、市町及び関係機関と連携して、地域の保健福祉事業を実施しています。

当センターの事業活動を進めていく中で、環境保全について、職員一人ひとりが強い意識を持って取り組むことは大変重要なことであると考えます。

また、公的機関として、民間企業や県民に対して率先し、模範となるよう行動する使命を背負っているものと認識しております。

このため、私たちは、当センターの事業活動が環境負荷へ及ぼす影響を少なくするため、以下の行動に取り組みます。

- (1) 事業活動の中で省エネルギー化・省資源化(紙の節約)を進め、二酸化炭素の排出量を抑制します。
- (2) 事務用品の購入にあたっては、積極的にグリーン製品を採用します。
- (3) 廃棄物の削減とリサイクルを進めます。
- (4) 資源の有効な利用を図ります。

この方針に基づいて、職員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全職員に周知します

平成21年12月28日

石川県能登中部保健福祉センター

羽咋地域センター 所長 柴田 裕行

3. 環境負荷低減の取組

当センターでは、事業活動に伴う環境負荷を削減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

<p>目標-1</p>	<p>二酸化炭素の排出量を、平成20年度(36,681kg-CO₂)を基準として、平成22年度までに約2%削減、35,950kg-CO₂以下に削減する。</p>
<p>具体的な取組</p>	<p>(事務所での取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 冷房温度(28℃)と暖房温度(20℃)を厳守する ② 昼休みの消灯、パソコン・コピー機の電源OFFを徹底する ③ 人のいないエリアの消灯を徹底する ④ パソコン・コピー機の節電機能を活用する ⑤ ボイラーの循環水の温度を適切に設定する ⑥ 冷房の使用は午後以降のみとする ⑦ 照明器具の省エネ化を進める <p>(公用車使用に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑧ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける ⑨ 車両運転開始時点検を行う ⑩ 会議・打ち合わせなどの計画を事前に集約し、効率的な公用車の使用に努め、乗り合わせを徹底する

<p>目標-2</p>	<p>一般廃棄物の排出量を把握しつつ漸減に努めていく</p>
<p>具体的な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 廃棄物排出量を正確に計測・記録する ② シュレッダーの使用は機密書類に限定する ③ 使用済みインクカートリッジはリサイクル業者に回収してもらう ④ 詰め替え可能な製品を優先的に購入する ⑤ 封筒、ファイル、フォルダーは繰り返し使用する

目標-3	コピー用紙の使用量を、平成20年度(121kg)を基準として、平成22年度までに約2%削減、118kg以下に削減する。
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 作成した資料やメール等で收受した資料はパソコン画面上での確認を徹底する ② 書類・資料の電子データ化を進め、メールでのやり取りを徹底する ③ 両面印刷、両面コピーを徹底する ④ 使用済み用紙の裏面を利用する

目標-4	環境に配慮したOA機器・事務用品を使用する
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① グリーン購入法で定められた物品の調達にあたっては、グリーン化購入率をできるだけ100%に近づける ② 「石川県グリーン購入調達方針」を再度全職員に周知し、公的機関が率先して取り組まなければならないことを認識してもらう

4. 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、管理担当課長(環境管理責任者)を委員長とする環境推進委員会を設け、全職員が「具体的な取組」を実行します。